

## 育児支援／育児ひろばアプリコット



親子の笑顔あふれるアプリコット

毎週火～木曜、午前10時から午後2時まで、水口の自主活動センター「きずな」にて、0～4歳の親子が気楽に集える育児ひろばを開催。おもちゃ・絵本・雑誌・コーヒー等を用意し、お昼ごはんもOK。活動の日程や様子はホームページ・ブログをチェック。

<http://www.biwa.ne.jp/~kshikata/apricot/>

<http://apricot.shiga-saku.net/>

平成17年8月設立。スタッフ11名、利用登録数は約300組。

連絡先(鹿田) ☎090-1143-4307 FM63-2970

お母さんがほっとできる場づくりを



鹿田由香さん  
「育児ひろばアプリコット」は、

自身の育児経験から、ママが気軽にフランクと寄れる場・ほっとできる場をつくりたいと思い立ち上げました。現在11名のママスタッフが運営しています。

ここでは、みんなで子どもを見守るためお母さんがリラックスでき、情報交換の場にも

## 文化伝承／大水口宿禰ツト



第7回勉強会の様子

若い力で伝統文化を次代へ



「大水口宿禰ツト」は、水口曳山祭が大

好きな主に曳山保有町の若衆の集まりです。以前は、各町での活動が中心で、横のつながりがほとんどありませんでした。しかし最近では担い手となる若者が減少してきたこともあり、またさらなる地域の盛り上げを求め、各町の垣根を越えて情報交換をしよう

と、団体を立ち上げました。

勉強会を一般にも開放したり、ワークショップや水口躰子の披露を行ったりすることで、私たちの活動をオープンにし、多くの方に祭りに関わっていただくきっかけづくりをめざします。16基の動く文化財「曳山」や16種類の「水口躰子」を、今後は水口だけでなく甲賀市の貴重な財産として伝承していくことが私たちの務めであると考えています。

市の貴重な文化財「水口曳山祭」やそれに付随する「曳山」「水口躰子」を、次の世代に正確に伝承するための活動を展開。勉強会等を通じこれらの財産を調査・研究していくことで、地域や世代間の相互交流の活性化をめざす。同会の名称は、水口神社の祭神「大水口宿禰命(おおみなくちすくねのみこと)」と「若衆ネットワーク」を掛け合わせたもの。平成14年3月設立。会員は57名。

連絡先(広瀬) ☎FM63-7728

## 環境保全／NPO法人 環境と農業の融合を考える会「鹿深の杜」



商品化された割り箸炭

割り箸炭から考える循環型社会



「鹿深の杜」は、環境の大切さを考え、

限られた資源の有効な活用により循環型社会を築こうと発足しました。

5月には休耕田を利用して会員によるヒマワリの種まきを行い、減反政策により荒廃し、雑草が生い茂った田地から景観を取り戻す取り組みを始めています。

このほど製作し販売を開始した「割り箸炭」になる使用済み割り箸は、市内の料理屋さんで分けてもらっており、週に2000本にも上ります。本来可燃ごみとして出される割り箸を商品化することで、資源の再利用ができ、CO2の削減にもつながります。

今後は、この割り箸炭の販売を軌道に乗せることを目標としています。環境と農業が融合する豊かな甲賀市を次世代に引き継いでいきたいと思っています。

連絡先(南) ☎62-1959 FM63-1960

# 市民がつくる 市民が主役のまちへ



NPO法人甲賀の環境・里山元気会による保育園児の里山体験(写真は昨年5月)

## 市民主導のまちづくりを聞く

地域では、まちづくりを進めるために、市民主導による活動も既に展開をいただいており、市もそうした協働のまちづくり活動を支援するために市民活動支援補助金を創設し、協働をキーワードにしたまちづくりを展開しています。

そこで、今年度、市民活動支援補助金を受けて活動に取り組んでおられる団体の代表者に、それぞれの活動を通じたまちづくりについてお聞きしました。

国や県での財政構造改革が断行され、地方自治体でもその影響が直撃し、甲賀市も例外ではなく、厳しい財政運営となっています。

市では、事務事業の見直しや組織機構の改革など、健全な行政運営を進めるための改革に取り組んでいます。また一方では、高度化・多様化が進む市民ニーズに 대응するための行政運営も求められています。

そうしたなか、今こそ、市民憲章にあります「みんながつくる住みよさと活気あふれる甲賀市」の実現に向けた取り組みが必要であり、市民の皆さんの市政への参画が欠かせません。

**自分たちの「おもい」や「夢」を形に**  
 冬の間、ルミネーションは、山本敬次さん  
 2000年のミレニアム記念イベントでの企画でした。1回きりで終わらせるのはもったいないと、有志が集まり「夢作戦・みなくち21」を立ち上げ活動を続けています。



山本敬次さん



恒例となった冬のイルミネーション

21世紀にふさわしい「まちづくり」を住民主体で自主的、積極的に企画立案し、だれもが住みよい、心ふれ合う明るいまちの実現をめざす。主な事業は冬のイルミネーションと夏の子どもサミット。市内全域に新規会員を募集中。斬新なアイデアでともにまちづくりを。

平成13年11月設立。会員は32名。

連絡先(山本) ☎090-5658-2580 FAX62-0071

また、子どもサミットは、小学5・6年生を対象とした体験活動で、今年10月ごろに予定しています。意見発表の時間も設け、未来を担う子どもたちに甲賀市のことを考えてもらいたいと思っています。

「自分たちのおもいや夢を形に」をスローガンに、市民がつくる新しいまちづくりに取り組んでいきます。

声かけ運動からふれあいのまちへ  
 殿城弘子さん



殿城弘子さん



文化祭の劇で車内マナーを訴える甲南高校生

「はーとふるラインかふか」の活動は、主婦ボランティア6人の声かけ運動から始まりました。

車内で自分の部屋にいるかのようにふるまう若い人に話しかけることに最初は戸惑いましたが、取り組みを重ねるにつれ、高校の生徒会で車内マナーにつ

いて考えてくれるようになりました。また、車内で高校生に親切にされたことのある育児中のお母さんも、自分たちにもできることはないか、と活動に協力してくれるようになり、私たちの活動が実を結び始めました。

この取り組みは世代を越えて広まり、人と人がつながるきっかけにもなっています。私たちの甲賀市をみんなで良くしていこう、そんな気持ちで活動を続けていきたいと思っています。

連絡先(殿城) ☎FAX63-1757

健康推進／歯っぴいすまいるの会



口の老化を防ぐ健口体操

健康づくりをお口から

歯といえば、これまで歯磨き指導や治療が主でした。私たちは、皆さんの楽しみである「食べる」ということに絡めて、口の機能低下が招く病気を予防するための指導を行っています。楽しく食べることで、人とのコミュニケーションができて、生活の質を上げることにもつながります。

健康のためにウォーキングをされる方は多いですが、口には年をとれば悪くなって当然

生涯自分の口から元気に楽しく食べることで、健康で生き生きとした生活ができるように、小さな子どもから大人までを対象にゲームや体操、歌などを交えた活動を展開。むし歯予防や食育、高齢者の口腔機能向上など歯の健康づくりをめざす。活動場所は、地域のサロンやイベント会場など。

平成18年5月設立。会員16名は全員が歯科衛生士。

連絡先(奥野) ☎FAX86-0541

「お話を聞きした方 山本さん、玉井さん、谷口さん、山崎さん、楢本さん」

私たちは、お年寄りに限らず、すべての方の口の健康のために活動しており、依頼があれば市内どこへでも出向きます。「口から食べられること」の大切さを今一度見直しませんか？

求められる市民力と協働



「ごはんの会粒っ子」による食育啓発

今回紹介させていただいた市民団体の皆さんの活動は自らができるまちづくりへの取り組みの一例です。これまでも同じ補助金を受けていただき、現在も積極的に活動いただいている皆さんも多くおられます。

子育てや教育、福祉や環境の問題など、行政だけでは十分対応できない分野を市民の皆さん活動いただき、市民の皆さんと行政が共に手を携える協働によるまちづくりが、今、求められています。

身近な活動が甲賀市を元気にし、笑顔こぼれるまちを築くこととなります。



食を通して健康を考える男性料理グループ「華板さん」

まちづくりをたのむポイント

市民活動支援補助金

市では、福祉、防災、環境、まちづくり、教育、文化などさまざまなテーマで、公益性があり、自主的に継続して取り組まれる事業を応援するため、「市民活動支援補助金」の制度を設けています。

6月1日の公開審査会では、補助金を申請された7団体によるプレゼンテーション（事業の説明）が行われました。審査の結果、今回紹介した7団体すべての活動が補助対象事業として採択されました。



各団体の取り組みが発表された公開審査会

市民活動支援補助金についての問い合わせ  
 市民活動推進課  
 ☎65-0687 FAX63-4554

障がい者支援／盲ろうサークルふれんど

盲ろう者の社会参加への窓口として

「盲ろうサークルふれんど」は、盲ろうという重複障害を持つ人たちの暮らしを少しでも豊かにするために活動しています。

市内の量販店での合同研修では、店員さんと盲ろう者が一緒に売り場を歩いて、介助の仕方や手のひらへの筆談などを実践で学んでいただいています。そのときの店員さんに、後日サークルの仲間に入っていただけたり、



支援の方法を学ぶ量販店での研修

目と耳の不自由な方との交流の輪を広げ、社会参加をめざすサークルで、月1回水口の生活支援センターあかつきで活動。これまでの手話体験学習や現地買い物体験に加え、今年度はまんがでわかる手話のミニ本を作り、たくさんの方と関われるような事業を計画中。皆さんどうぞお気軽にご参加を。

平成17年9月設立。会員は19名。

連絡先(上西) ☎FAX75-0486

「お話を聞きした方 上西さん、野呂さん、平良さん、中山さん、中山さん」

盲ろう者通訳・介助の資格所持者が当初の3名から7名に増えたりするなど、活動の成果が表れてきました。私たちが活動することで、理解者や支援者が一人でも増えることを願っています。手話や介助などのコミュニケーションの輪が広がり、盲ろう者が社会参加できる住みよい甲賀市になるように取り組みを続けていきます。